

節目を迎えた包装人材育成事業と 包装管理士会

公益社団法人 日本包装技術協会
専務理事 古屋 一

日本包装技術協会の古屋でございます。本年もご挨拶に代え包装技術協会の近況とか今年度の主な事業を紹介させていただきます。中には管理士会の皆様方にもご参加いただきたいこともいろいろあり、ご支援ご協力につきましてよろしくお願いしたいと存じます。

5月に包装技術協会の会長が代わりました。花王の尾崎会長から明治ホールディングスの浅野会長にバトンタッチが行われました。また、副会長に新たにライオンの藤重会長が就任し、現在、会長に浅野様、副会長にライオンの藤重様、レンゴーの大坪様、そして東北百貨店協会の藤崎様という体制で進めています。

さて、6月の初めに包装管理士講座が開講しました。包装管理士会の井上会長にも研修委員としてご支援いただいております。今年は全国から418名が受講生として参加しています。この包装管理士講座のひとつ上のコースが包装アカデミーコースで、今年度は、輸送包装、食品包装、医薬品包装及び包装材料の4つのコースが開催されており、58名が受講生として参加しております。

次に、今年は東京パックがございませんで暮らしの包装商品展を開催します。少し先の9月に開催しますが、いつもの会場を飛び出して、ららぽーとTOKYO-BAYという船橋市の施設をお借りして行います。ここは住宅街も近く、今までとは異なる新しい環境で実施したいと思っております。ぜひ、管理士会の皆様方にも消費者の方々へのアピールを中心としたこの展示会にご参加いただきたいと期待しております。

それから皆様ぜひご参加していただきたいのが、11月に福岡で開催する全日本包装技術研究大会です。こちらは第53回目の開催となり、日本包装技術協会創立以来、欠かすことなく続いております。

以上の通り、大きく変わった内容はございませんが、ご参考までに紹介させていただきました。

現在開講中の包装管理士講座は第50期として開催されております。それに伴いまして包装管理士会は来年、50周年を迎えられるわけですが、こういった周年は大きな節目になるかと思えます。この機に、次世代の包装人材はどうあるべきか、またそのためにどのような教育が必要となるか等々、次世代管理士講座についても異分野の方々も加えて多角的に考えていきたいと思っております。管理士会の皆様方のご意見等もぜひお寄せいただければ幸いです。

最後になりますが、大変興味深いお話で締めたいと思います。本年4月に1泊2日で包装新人コースという合宿研修を行いました。31名の参加者があったのですがその内16名が女性でした。包装技術協会が創立以来、半世紀を過ぎて初めて一つの事業で女性の参加者が男性を上回りました。こういう時代が到来したのだなと感想を申し上げ、祝辞とさせていただきます。

来年の包装管理士会創立50周年に向けて、本年が大いなる発展と飛躍の年となりますようお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

(第49回定時総会来賓挨拶より 文責：編集部)



PACKAGING INFORMATION
包装技術者の連携と協力をめざす

日本包装管理士会 会報
No.119

《INDEX》

定時総会	2
支部だより	4

ipp
news

ipp news
2015年8月25日発行
編集人／荒井拓哉
発行／日本包装管理士会
東京都中央区築地4-1-1
TEL 03-3543-9250

第49回定時総会を終えて

日本包装管理士会 会長・井上伸也（5期）

第49回日本包装管理士会定時総会冒頭において、ご来賓の方々をはじめとする、私たちの周りで私たちの活動を理解・支援して頂いている方々に会を代表してお礼申し上げたのち、この1年間の活動について会員の皆様に次のようにご挨拶させていただきました。

私達日本包装管理士会は、会員相互の研鑽および連携により、会員の資質と包装物流技術の向上を図ることを目的として日々の活動を進めて参りました。間もなく創立50周年を迎える今もこの考え方は変わっておりませんが、過去を振り返ってみるとその時代に応じて僅かですが内容は変化をしております。会の活動は会員の自己啓発を支援する活動です。活動の主体は会員の身近な組織である支部が行っておりますが、本部として支部が企画する活動に講師紹介などの積極的な支援が行われているか等の部分で、不足と言わざるを得ないのが現状です。50周年は再確認する良いチャンスと捉えております。

50周年を迎える行動は既に始まっており、記念事業の一つとして会員の皆様のご協力を得て、50周年キャラクターと愛称を募集いたしました。

そして今日ご出席の皆さまはお気づきだと思いますが、議案書の表紙に決定したキャラクターと愛称「つつむ君」を使用いたしております。この募集に関しましては会員の皆さまから非常にたくさんの応募をいただきました。改めて感謝申し上げます。50周年の総会に向けてこのキャラクターと愛称を使いながら会の活動に興味を持っていたく、あるいは会員としての自覚を促していきたいと考え

ております。詳しくは議案の中で山田実行委員長からご報告をするとともに決定作品の表彰もさせていただきます。

また、活動のまとめを中心に置いた50周年記念誌の発行を予定しておりますので楽しみにしてください。

包装管理士有資格者は49期終了時点で12,241名になったそうです。年齢層も非常に広がっており、仕事の面から見ても、大ベテランから包装に携わってまだ日の浅い方までが含まれております。このような基盤の上に、現在の会員がいるわけです。このような状況から、日本包装管理士会として、外部への情報発信も課題です。ホームページによる情報発信はもとより、メール登録していただいた会員には直接のご案内も始めております。また、JPI発行の「包装技術」誌や日報ビジネス(株)発行の「包装タイムス」紙などに記事を掲載していただいておりますが、本日まで出席の皆さんもご覧いただけていますでしょうか？

本年1月1日発行の「包装タイムス」（(株)日報ビジネス発行）ではIPPの50周年と「10大ニュース」を取り上げていただきました。記者の方に50周年記念誌で10大ニュースを核にすることを考えており、スタート以来、続けている事業でそれぞれの時代の背景を反映できた内容で、これはすごく値打ちがあることでこれを軸にまとめていこうとしていますとお話ししましたところ、取材して記事にして下さるということで実現しました。もしまだ読んでいないという方がいらっしゃいましたら、ぜひご覧いただきたいと思います。

またJPIからは「包装技術」誌にページをいただき、

毎月1回「IPPコミュニティ」という広報を掲載させていただいております。このように我々の活動を支えて下さっている周辺の皆様に心より感謝申し上げます。我々の50周年を迎えたいと考えております。



第49回日本包装管理士会定時総会開催される

2015年6月17日（水）、第49回日本包装管理士会定時総会が、開催されました。

総会は、24名の出席者と311名の委任者によって成立し、公益社団法人日本包装技術協会専務理事 古屋一氏、日本包装コンサルタント協会副会長 住本充弘氏、日本包装専士会副会長 高井弘澄氏、技術士包装物流会会長 田中好雄氏を来賓にお迎えして開催されました。審議に先立ち、井上伸也会長の挨拶、来賓を代表して日本包装技術協会 古屋一専務理事から祝辞をいただきました。

議案の審議

議案は、提案された5件全てが承認されました。

第1号議案 2014年度事業報告及び収支決算報告承認の件（提案者：事務局長・荒井拓哉氏）

各支部の会員動静は、北海道から西日本まで合計773名で、昨年より8名減少したことを報告した。続いて2014年度の財務・情報・広報・国際・総務・事務局の各事業報告と2014年度収支決算につき、報告があった。

第2号議案 2014年度業務監査報告及び会計監査報告業務監査報告：（業務監事・藤井健治郎氏）

業務監査の結果、2014年度の計画を全部門一致して活動したことを評価されるものと認めると報告した。

会計監査報告：（会計監事・塚本富陸氏）

会計帳簿、収支決算報告書及び貸借対照表を監査、公正妥当な会計習慣に従って作成されたことを確認と報告した。

第1号・第2号議案 質疑応答（ポイントのみ記載）。

（発言者：小林弘佑氏（会員番号 17089））：ホームページは改善されていると思うが、まだ改善するべき点がある。

質疑応答終了後、1号議案・2号議案が承認された。

第3号議案 2015年度事業計画（案）及び収支予算（案）審議の件（提案者：会長・井上伸也氏）

〈事業計画〉：重点課題の活動の基本は変わっていない。ここ数年、会費を納入していただいた会員数で、前年度の1割減想定で予算を組んでいる。来年はたくさん回収できたと報告したい。施策として、第50期は、包装技術協会から最終合格が上司の方に報告される時に、新しく管理士になられた方に管理士会に参加するように勧めてくださいというお願いをしたいと考えている。

〈2015年度予算（案）〉：収入予算は6,101,600円になっ

ている。中部支部は会費の回収を独自で実施、これはそのまま継続していく。本部、中部の会費の合計が、5,053,600円で、会費納入済み会員数から中部の人数を引き、10%減を想定して計算している。支出の支部活動費は、中部支部も他の支部と同じ比率で交付している。支出は、6,230,000円で予備費は、48,960円で厳しい予算と報告。

第3号議案に対する質疑応答

発言者：小林弘佑氏（会員番号 17089）：「ippニュース」の記事の内容は、会員にどれだけ還元できるかということ考えた発想をしていただきたいと思う。

質疑応答終了後、第3号議案が承認された。

第4号議案 創立50周年記念事業に関する件審議の件

提案者：山田孝志委員長：記念誌発行委員会は委員長：佐々木氏で進めている。キャラクターは委員長：古平氏でキャラクター募集・商標調査・愛称募集・商標調査を行い、議案書の表紙に画いてある図案と愛称が決まった。記念セミナー委員会は委員長：道明氏で、講師、セミナーの内容を検討している。記念パーティ委員会は、委員長：五十嵐氏で進めており、式典・パーティ会場として飯田橋のアグネスホテルを内定している。パーティは会費制で行う予定で進めている。引き続き委員会を続けていき、来年50周年を無事迎えたいと思う。それに対する予算として、総額293万円を事業計画予算とし、今年度は名刺用シールの作成・配布、他で54万円を計画しており、これを含めて記念事業予算として総会に提案する。



山田 50周年記念事業委員長

第4号議案に対する質疑応答

発言者：小林弘佑氏（会員番号 17089）：

今の定款は検討点もあると思うので、改定を含めて見直し、50周年記念誌に定款を盛り込んだ方が良いと思う。

質疑応答終了後、第4号議案が承認された。

第5号議案 その他

(提案者：会長・井上伸也氏)：定款に関連して、承認いただきたい件があります。先程の質疑応答の中に通常総会という言葉があったが、今日の議案書も過去の議案書も、定時総会となっている。定款13条(2)項の「通常総会」を「定時総会」に改訂することをご了解いただきたく提案します。念のため申し上げますと定款の変更については出席の方の2/3以上の人数の賛成で承認されます。ぜひ、よろしくお願いします。

この件について、反対の方はなく、全員賛成で承認された。

定時総会議事は無事、終了し、続いて50周年記念キャラクター賞金授与が山田委員長により行われた。

山田委員長：キャラクターの図形の賞金を五十嵐様に授与します。(賞金授与) 応募作品は27点あり、その中で見事1位になりました。引き続き、愛称の考案者に賞金を授与します。愛称は「つつむ君」に決まりました。同様の愛称が3名の方から出ています。株式会社トーモクの大上様、株式会社ダイワパックスの吉田様、名糖株式会社の藤井様、以上の3点がほぼ同様の案でしたので、3点を受賞としました。応募作品は72点あり、3名の方が1位となりました。代表して藤井様に賞金を授与します。(賞金授与)

賞金授与の後、井上会長より審議と提案に対する謝辞が述べられ、定時総会を閉幕し、交流会となった。



包装関係団体の来賓ご挨拶

なお、本部定時総会に先立ち、第43回日本包装管理士会関東支部定時総会が同日、同会場で開催されました。15名の出席者と141名の委任者によって成立し、4件の議案は全て承認されました。

2015年度 日本包装管理士会 支部長

北海道支部	酒井 幸彦 (36期)
東北支部	鈴木 雅彦 (23期)
関東支部	山田 孝志 (35期)
中部支部	岡部 智 (27期)
関西支部	桃川 公一 (23期)
西日本支部	宮崎 義一 (21期)

関東支部だより

IPP写真研究会活動報告

IPP写真研究会 会長 林 晴夫 (19期)

まず、昨年末の12月12日から本年1月16日までJPI事務所ロビーをお借りして会員作品14点を展示しました。例年通り固いJPI事務所に花が咲いたとご好評でありました。

2月14日は新年会小写真展を例年通りアサヒビールゲストルームにて開催しました。本年は特別に外部講師をお招きして「スチールカメラの変遷」というお題で講演して頂きました。天候に恵まれ待望の夕焼け富士を窓外に展望出来、益々ビールの味が冴え楽しい会になりました。4月26日には第7回高円寺大道芸大会に参加し楽しい写真を撮りました。撮影会終了後には高円寺中華料理の名店で情報交換会を実施しました。5月9日には足利フラワーパークに足を延ばし、大藤、八重藤、クレマチス等々の花に囲まれての撮影会でした。美しやどこもかしこも藤の花という楽しい会になりました。6月8日は今秋の写真展会場の抽選会が横浜であり、7名の会員が参集し、第1希望の10月22日～27日の234号館の会場を獲得出来ました。

本年も現役、OB包装管理士会員の種々情報交換と楽しい語らいの場の提供を目指して活動しております。これからは8月22日の花火撮影会9月12日御祭り撮影会、そして横浜234号館写真展という計画をしております。来年のIPP創立50周年記念大会にも何かIPP写真研究会として参加出来ないかと、思案しております。包装管理士の皆様のご意見、ご要望が有ればお聞かせください。



足利フラワーパークにて

関東支部だより

冬季見学会を開催

関東支部 副支部長 古平 篤 (25期)

関東支部は冬期見学会を1月22日(木曜日)に開催し、29名が参加しました。

当日午後、京浜急行・大鳥居駅に集合し、駅に直結しているワタミ夢ストリートを見学しました。

その後、ヤマトグループの羽田クロノゲートに移動し、見学を行いました。このクロノゲートは宅急便のベース(物流センター)の役目があり、「速く、正確に届けるための仕組み」を実践するために、荷物の仕分けをコンピューターで管理しており、実際に荷物が流れている様子を見る事が出来ました。また物流センターには、物流に付加価値を生み出すための設備がいろいろありました。業者と提携して発送代行、通関業務、商品の修理をメーカーに戻さないで修理し、お客様に届ける設備、印刷物の印刷と発送、医療機械の保管と洗浄などの設備がありました。

見学終了後、情報交換会を行い20時すぎに散会となりました。



ヤマトグループ・羽田クロノゲートにて

2014年度「第2回包装研究会」を開催

関東支部 副支部長 道明 誠 (23期)

2015年2月5日(木)、(株)文昌堂10F貸会議室において、2014年度 第2回包装研究会を開催し、16名の会員が参加しました。

テーマ1は「第52回全日本包装技術研究大会(札幌大会)を聴講して」で、(株)ジーシー・デザイン部・二瓶錦也氏の聴講報告で、氏の「DPD」による包材のまとめ方は興味深く、非常に参考になりました。テーマ2は「当社オリジナル包材 フランジ割れ改善報告」で、第49期包装管理士講座・優秀合格者の四国化工機(株)包装システム事業部・廣田成克氏の講演で、クレームの原因調査、危機意識、改善によりノンクレームを獲得するまでの施策等についての具体的な報告がありました。

講演後、聴講者から質問と知見の発言があり、その発言も聴講者に変役に立ちました。



講師の二瓶錦也氏と廣田成克氏

「第9回 スキルアップセミナー」を開催

事務局

2015年3月13日、(株)文昌堂貸会議室において「第9回スキルアップセミナー」を開催し、16名が参加しました。

テーマは「段ボール包装における最近の傾向」で、レンゴー株式会社 包装技術部 石川淳生氏にご登壇いただきました。セミナー内容は、段ボールの基礎、胴膨れのメカニズム、新規格段ボール「デルタフルート」、「シェルフレディ・パッケージ」について、動画を駆使して解説していただきました。講演後の質問も活発で、参加者からは「段ボールの基礎から最近の包材まで学ぶことができて役に立った」、「含水率に関する情報が得られた」、「軽量化の要因が良く解った」等の声がありました。



講師の石川淳生氏

「インドネシア視察報告会」を開催

関東支部 副支部長 道明 誠 (23期)

2015年3月13日、(株)文昌堂10F貸会議室において、インドネシア視察報告会を開催しました。視察を行った古平篤氏・荒牧哲氏・道明誠氏の3名から、ジャカルタで開催された“PLASTICS & RUBBER INDONESIA 2014”視察報告とIPF(インドネシア包装連盟)との交流、スーパーマーケットの見学報告が行われました。併せてインドネシアの経済とASEANの動向についての解説があり、参加者からは活発な意見・質問が出されインドネシアへの理解が深まる有意義な報告会でした。



報告をする古平副支部長

関東支部だより ●●●

春の見学会を開催

関東支部 副支部長 古平 篤 (25期)

関東支部は5月22日春の見学会を行い、21人が参加しました。小田原駅に集合し、貸し切りバスでライオンの小田原工場に向かい、見学しました。小田原工場では、ハミガキ、歯ブラシから医薬品に至るまで、幅広い製品を製造していました。

ライオンの見学を終え、小田原駅の近くの北條水軍で昼食を取り、小田原城を見学した後にアサヒビールの神奈川工場を見学しました。工場内は緑が多く、非常に綺麗で大きな工場で、工場見学の最後にはビールを試飲することが出来ました。

見学を終了し、午後4時半すぎに解散となりました。



ライオン・小田原工場にて



アサヒビール・神奈川工場にて

関東支部 ベトナム視察開催

関東支部 副支部長 古平 篤 (25期)

関東支部は7月2日(木)～7月5日(日)ベトナムのホーチミンを5名で訪問しました。

7月2日(木)午前、成田空港からベトナム航空で6時間、ホーチミンに到着し車で宿泊先のホテル、ルネッサンス・リバーサイドまで行きチェックインをした後、タクシーでサイゴン・エキシビジョン&コンベンションセンターに向かいました。

今回は23rd International Industrial Machinery Exhibitionを視察しました。包装関係と建築関係等、他の展示会と合同で行っていました。日本の企業も出展していました。また、韓国パビリオンもありました。



展示会会場にて

その後、TOKYO TOWN(日本料理屋)で王子製紙グループの3名の方と情報交換会を行いました。3人とも単身赴任との事で、ベトナムの日常生活についていろいろと話を聞く事ができました。

7月3日の午前中はベトナムでインスタントラーメンを製造しているエスコック・ベトナム工場(日本のエスコックの海外法人)を視察しました。会議室で工場概要の説明を受けた後、製造ラインを見学しました。今回はお湯を注いで食べるラーメンの製造で、プラスチック容器入りと袋入りタイプがあり、今回はプラスチック容器タイプの製造工程を見せていただきました。午後はホーチミンの旧南ベトナム大統領官邸(統一会堂)やフランスの名残がある、教会、郵便局等を見学しました。また、ベントイン市場は非常に活気がありました。

その後、ベトナムで水上人形劇を見た後、夕食を取りながら、サイゴン川クルーズを楽しみました。

7月4日は、観光バスで1時間半位の所にある、ミでメコン川クルーズをした後、市内に戻り、昔、日本でいっしょに仕事をした事のあるベトナム人との会食を行い、夜行の飛行機で7月5日朝に成田空港に到着し、その後解散しました。



エスコック・ベトナム工場にて

5月21日に関西支部総会が開催され、桃川支部長を含め9名の運営委員が承認されました。本年度もミニセミナー、見学会、W会との合同セミナー等を主体にした活動を展開していきます。会員の皆様には、関心のあるセミナーには是非ご参加頂きたいと考えています。

関西では女性だけの包装研究会であるW会がさまざまなテーマで活動されていますが、そのW会との合同研究会は華に満ち溢れたセミナーで、会員の皆様が楽しみにされているものです。（残念ながら今年は7月15日に終わってしまいました）

本稿の後にW会主宰の三笠産業(株)遠藤明子様をお願いして、W会の活動内容についてのご紹介を掲載していますのでご覧ください。

◆ミニセミナーの開催

◇第23回 2月24日

「京セラドキュメントソリューションズにおける包装への取組み」

講師：京セラドキュメントソリューションズ(株)
中村敏之氏

「フレキシインキの最新事情と東洋インキのフレキシソ製品群のご紹介」

講師：東洋インキ(株) 須藤馨氏



第23回セミナーの様子



懇親会にて

◇第24回 3月26日

「APPAパレット（紙製パレット）及びそれを使用した輸送用梱包箱の活用事例」

講師：もりや産業(株) 内藤森氏

「アイオノマー樹脂の機能と包装材料への応用」

講師：三井・デュポンポリケミカル(株)

西嶋孝一氏



第24回セミナーの様子



懇親会にて

◆2014年度／2015年度 関西支部 総会

2015年5月21日 於：中之島センタービル28階

（日本包装技術協会関西支部）



（左）桃川支部長（右）下茂副支部長

P7から続く→

◆夏期見学会&セミナー 6月19日

①見学会 月桂冠(株)大蔵記念館・大手蔵



月桂冠大蔵記念館にて



日本酒最高！

◆第6回W会との合同研究会 7月15日

「多様化・変化する生活者ニーズとパッケージ対応」

講師：住本技術士事務所所長 住本充弘氏

「インクジェットによる包装材料へのダイレクト印字の可能性」

講師：紀州技研工業(株) 山本智氏



W会 遠藤さん



ビールが美味しい！

関西発「女性だけの包装研究会」

『W会活動紹介』

三笠産業(株) 遠藤明子 (40期)

●発会の経緯

きっかけは、包装管理士会OBの皆さまからの後押しでした。セミナーなどへの女性の参加者が少ないことを気に掛けていただくなかで「女性が気軽に交流できる場を立ち上げたらどうか?」と、ご提案をいただきました。それから一年ほどの準備期間を経て、2006年に女性中心のネットワーク「W会」を発足しました。

立ち上げは、第40期の管理士講座の関西女性受講生が中心になりました。その後、包装技術協会関西支部にもご協力いただき、徐々にメンバーも増えています

発会のきっかけをいただいた関係で、現在までのW会の活動は、包装管理士会関西支部の運営委員会から温かなご支援をいただいております。(この場をお借りして、お礼申し上げます。)

●目的について

活動の目的は、包装業界で働く女性による情報交流、ネットワーク作りです。業務に関わらない分野も含めて、社外にもコミュニケーションのネットワークを拡げたいという気持ちを持つ女性が集まっています。

●活動について

W会の独自企画活動は、年に1～2回程度です。見学会を中心とした勉強会を「無理をしない」頻度で続けています。会員さんが増えるに従い、活動の要望も増え、時代のテーマにあわせた勉強会や見学会を実施しています。

この他に、包装管理士会関西支部との合同研究会を夏季に開催しています。今年で6回目を迎えた定例活動となっています。

W会は、包装技術協会や包装管理士会の会員に限らず、包装に関わっておられる方にひろくご参加いただいています。

W会の活動を通じて、包装管理士会のことを知り、W会活動の延長として包装管理士講座を受講される場合もありますので、近年は包装管理士の称号を持つメンバーさんが増えています。

現在のメンバーは、徐々に年齢層も広がり、20歳代から50歳代までの女性が参加されています。毎回、幅広い年齢層で様々な意見を交換し、厳しく、そして楽しく交流しています。

意見交換の場では、ひとつの立場では思いつかないような考えやアイデアに、いつも驚かされています。時には、真剣に、時には笑いが止まらない場面もあり、毎回、あっという間に時間が過ぎていきます。

また、会合時以外でも、質問メールが会員間で飛び交うこともあります。メンバーの所属企業は、扱う素材も様々、包装分野や技術も多様なため、お互いが社外ブレインとして、頼りになる存在です。

業務上の課題だけでなく、働く上での女性特有の課題についても、意見交換されています。

悩みや課題を共有できる場所と認めていただけていることが、継続してきた理由のひとつだと思います。

2006年秋に初回研究会を企画してから、すでに8年が経ちました。この間、メンバーの入れ替わりはありますが、毎年、15名前後で格闘しています。関西以外からもご参加いただくこともあり、ネットワークは拡大中です。

この会は、女性だけに限定しているわけではなく、講師を男性にお願いしたりしておりますので、ご興味のある方は、ぜひ、ご参加ください。

今後ともご支援よろしくお願いします。



合同研究会 懇親会の様子

北海道支部だより ●●●

北海道支部長 酒井幸彦（36期）

IPP会員の皆様、盛夏の候いかがお過ごしですか？。

本州方面は体温を超える暑さが続いているようですが熱中症には充分気を付けて下さい。

北海道も例年になく蒸し暑い日が続くこの頃です。

札幌大通り公園のビアガーデンも7月22日から始まり、仕事帰りのサラリーマンや観光客がジョッキを傾けているようです。

北海道経済は1次産業の農、水産業がまだ主力であり、2次もそれに関わる産業の為に1次が2次に影響を及ぼしている状況です。今年は、農産は今の処は果樹もまずまずで秋収穫のジャガイモ、玉葱も順調のようです。但し水産に目を向けると新聞等で話題のニチロ漁業交渉の春鮭鱒流し網漁の今年度妥結が1ヶ月近く遅れ、又来年からは全面禁止との事で道東の根室地区では影響額は250億円にも上るといふ非常に厳しい状況です。

又、農産でもTPPが妥結されればその影響は計り知れないものになり、包装資材を扱う我々にとっても他人事とは思えない状況です。

いずれにしても我々は常に「包む」を念頭に活動しなければならないと思います。

【北海道支部総会】

北海道支部の平成26年度通常総会を5月27日ネストホテル札幌駅前にて開催致しました。平成26年度決算報告並びに平成27年度事業計画案を説明し承りました。

今年は予算が厳しく、喫緊の課題としては会員の減少があり何とか増員を図りたいとJPI会員各社にお願いしていますが厳しい状況です。

【札幌パック開催】

6月17日～19日 アクセスサッポロにて札幌パックが開催され、IPPの新包装管理士数名がJPIブースにて展示協力致しました。

【親睦ビール会開催】

7月22日北海道ビール園（すすきの）にてJPI、IPP合同にて親睦会を開催致しました。

当日は26名が参加し、美味しいジンギスカン、ビールを満喫し北海道の暑い夏と日頃のストレスを発散し大いに盛り上がり明日からの仕事への活力を漲らせて終了致しました。



IPP・JPI共催の親睦会

東北支部だより ●●●

東北支部 事務局長 斉藤 昇（13期）

最近特に支部活動が低迷（参加者が少ない）傾向にあり、事務局では苦慮しておりますが、そのような中から1月（JPI主催の支部新年名刺交換会）と6月（支部総会）の活動をご報告します。

1) JPI主催・IPP他3団体共催での東北包装界新年賀詞交換会を1月15日に仙台市内の江陽グランドホテルで開催しました。開催前に記念講演が行われました。テーマは「ブランド価値を創造するパッケージデザイン」で講師は、プラビス・インターナショナル代表取締役のフミ・ササダ氏に登壇いただきました。

その後、お忙しい中を、来賓としてお迎えしたJPI古屋専務理事にご挨拶頂き、山田運営委員長の乾杯で祝宴が始まり、25分後には恒例となりましたビンゴゲームが行われ、一喜一憂しました。中締めはIPPの鈴木支部長が行い、散会しました。

2) 6月30日に支部総会を仙台市内のブラザー軒で開催しました。5月下旬に見学会総会を予定しましたが参加者が少なく、中止にした経過があり、総会も参加者が少なく実施が危ぶまれましたが、無事実施する事が出来ました。1号議案、2号議案が提案通り承認され、理事に若い会員（48期）を推薦し、承認されました。その後、本部総会議案書に基づいて

IPP50周年記念事業などの説明を行い、終了しました。



新年賀詞交換会 乾杯



支部総会集合写真

中部支部だより ●●●

中部支部長 岡部 智（27期）

包装資材研究例会と第46回定期総会

平成27年6月24日（水）の午後、JPI中部支部との共催事業である「包装資材研究例会」を60名の参加で開催しました。会場は名古屋駅東口に近接したウインクあいち（愛知県産業労働センター）で、「機能性フィルムと機能性食品表示の概要および耐振パレットによる防振対策について」をメインテーマに3件の発表がありました。

それぞれの講演は、株式会社アイセロの杉山 慎 氏から「水溶性フィルム 無限の可能性」、東京海洋大学先端科学技術研究センターの湯川 剛一郎 教授から「新食品表示基準～表示実施者が留意すべき事項～」および日本通運株式会社名古屋航空支店 係長 河村 洋司氏と日通商事株式会社名古屋支店 係長 水野 貴文 氏から「防振パレット並びに特殊物流資材を用いた安全輸送の実現」のタイトルでご講演して頂いた。コーディネータとして、フタムラ化学株式会社 フィルム営業企画部企画グループリーダー後藤 嘉信 氏および浅野段ボール株式会社 名古屋事業所 取締役事業所長 吉田 将

之 様にお願いしました。

例会終了後は同会場で、第46回定期総会を開催しました。第1号議案の平成26年度事業報告並びに収支決算報告と会計監査報告の承認、続いて、第2号議案の平成27年度事業計画並びに収支予算案の承認、第3号議案の役員の退任および新任案について審議しました。

引き続き、支部活動への会員各位のご支援とご協力をお願い致します。



中部支部第46回定期総会

西日本支部だより

西日本支部 副支部長 中村格勇 (26期)

今回は、総会前の役員会・見学会と、総会についてお知らせします。

1.西日本支部役員会・見学会

日時：2015年3月20日(金)～21日(土)

(1) 役員会

朝倉市美奈宜の杜 「山荘美奈宜」 20日

①西日本支部の今後の存続のあり方について

- ・現状維持か、本部からの独立等、独創的な意見を模索
- ・役員の後任問題（現役が少なくOB中心の打開策は?）
- ・JPIならびに本部との協力関係

②2014年度事業報告・決算報告、2015年度事業計画・予算（案）の検討

(2) 見学会

秋月郷土館 21日

秋月藩は福岡藩を興した黒田長政の三男長興（ながおき）が14歳のときに分知した藩ですが、明治2年の版籍奉還までの247年間存続した藩です。

知行高5万石の小藩ながら質実剛健の気質を持ち、武芸や学問に優れた藩風を誇りとし、その礎を築いた黒田長興（ながおき）公を学ぶため企画しました。

藩の公認を幕府からいただくのに8年かかり、また山間地が多く農業生産力も低く、藩財政は多くの困難を抱えたにも拘らず、藩民に対して無理を課さず沈着冷静に藩

政を収受して、信望を集めた采配を学ぶことが出来ました。

*説明は郷土館学芸員の三浦氏と私、中村(前日まで猛勉強しました)が担当

2.西日本支部総会

日時：2015年5月22日（金）

西日本支部2014年度事業報告・決算報告、2015年度事業計画・予算について満場一致にて承認をいただきました。

しかし、会員数減少問題(現会員37名)、本部に対する支部意見の反映方法、IPP50周年記念事業への取組、会則の見直し、本部理事会への参加出席等々、支部として、存続させるための課題を解決する要望がたくさん出ました。

*JPIが管理士を生み、管理士が育てたIPPは存続させる責任がありませんか

*IPPとJPIが共に協力して、また会員になることで自分の知力を高めて社会（企業）に貢献し、共に成長することを望むものです。

*企業を離れた時「定年退職後」寂しい思いをする人が多い様です。私は66歳で会社を円満退社し「秋月で棚田米・大豆・野菜」を栽培しています。見学会のお土産で配りました。

*私中村はIPP永久会員としてこれからも参加します。



見学会・秋月郷土館



総会後の懇親会



つつむ君

IPP創立50周年記念

キャラクターの愛称が決定しました。

「つつむ君」をよろしくお願いします。

たくさんの会員の皆様にご応募、ご投票いただき、決定することができました。厚くお礼申し上げます。

「つつむ君」はこれからさまざまな場面で活躍します。

ご期待ください。

● 編集後記 ●

第49回定時総会が無事に終了しました。全ての議案が採決され、特に、創立50周年記念事業及び予算も採決されました。これに引き続き50周年記念キャラクターと愛称「つつむ君」の表彰及び賞金授与が行われました。50周年記念行事の開催に向けて、具体的につめて、是非成功させましょう。

今年の夏は、国民の大多数反対の安全保障法制がこれからまだ議論が続きます。又、多大な税金投入のオリンピック国立競技場建設の問題。経済的には東芝の不適切経理の問題、秋に向

けては原子力発電所の再稼動の問題と大きな問題が山積みです。

当会の問題は、特に、会員の増員問題です。50期生の勧誘を行って行きたいと思います。

暑い夏となりましたが、お体を大切にお過ごし下さい。

前川喜知也 (28期)

日本包装管理士会 / Institute of Packaging Professionals, Japan

e-mail: ipp@pk9.so-net.ne.jp
http://www.ippj.net/

■本 部	〒 104-0045	東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 10F 日本包装技術協会内	☎ : 03-3543-9250 fax : 03-3543-8970
■北海道支部	〒 060-0004	札幌市中央区北一条西 2丁目 北海道経済センタービル 北海道生産性本部内	☎ : 011-241-8591 fax : 011-241-3898
■東北支部	〒 021-0893	岩手県一関市地主町 3-35 株式会社 東北ウエノ内	☎ : 0191-21-4531 fax : 0191-21-5381
■関東支部	〒 104-0045	東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 10F 日本包装技術協会内	☎ : 03-3543-9250 fax : 03-3543-8970
■中部支部	〒 450-0003	名古屋市中村区名駅南 4-1-2 17日通ビル 2F 日本包装技術協会内	☎ : 052-563-7110 fax : 052-563-7123
■関西支部	〒 530-6691	大阪市北区中之島 6丁目 2-27 中之島センタービル 28F 日本包装技術協会内	☎ : 06-6444-6479 fax : 06-6444-6450
■西日本支部	〒 800-0233	福岡県北九州市小倉南区朽網西 1丁目 6番 3号 ワイルド化成株式会社内	☎ : 093-474-1211 fax : 093-474-1113

----- Copy & FAX 用切取線 -----

日本包装管理士会会員登録データ変更届

■宛先 日本包装管理士会事務局 fax : 03-3543-8970 ☎ : 03-3543-9250

フリガナ

氏 名	会 員 番 号	番	平 成	年	月	日	届
会 社	社 名						
	所 属						
	住 所 〒						
	TEL			FAX			
自 宅	E-mail						
	住 所 〒						
	TEL			FAX			
	E-mail						